

県連だより

OITA CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

No.99

December 2017
大分県生活協同組合連合会

〒870-0278 大分市青崎1-9-35
TEL 097-527-4056 FAX 097-527-4084

おおいたの生協



九州北部大雨災害義援金目録贈呈



始まるよ



熊本国税局消費税軽減税率について

CONTENTS

- 第27回県議会各会派 議員との懇談会 2
- 第5回県連主催会員生協監事研修会を開く 5
- 平成30年度大分県予算編成並びに行政執行に関する要望書提出 6
- 第23回 大分県生協大会開催 8
- 県生協連主催 第28回スポーツ交流会が開かれた 10
- 2017年度 役職員研修会開催 11

OITA CO-OP TOPICS

- 生活協同組合コープおおいた 12
- 日田市民生活協同組合 13
- グリーンコープ生活協同組合おおいた 14
- 大分県学校生活協同組合 15
- 大分大学生生活協同組合 16
- 大分県労働者総合生活協同組合 17
- 大分県勤労者医療生活協同組合 18
- 大分県医療生活協同組合 19

第27回県議会各会派 議員との懇談会

生協連合会役員と県議会各会派の議員との懇談会が、9月15日(金)大分アリストンホテルで行われました。今年で27回目のこの懇談会は、県下の生協活動への理解と支持・協力を得るため、また、生協に対する意見・要望を聞くために県議会議長をはじめ、県議会各会派の議員のみなさんに呼びかけて開催したものです。

当日は県議会開会中に関わらず各議員の皆様は大変お忙しい中、井上伸史県議会議長さんをはじめ、県民クラブ、公明党、日本共産党より13名の議員の皆様の御出席をいただき、生協連は青木会長をはじめ県連役員14名、コープおおいた・グリーンコープおおいた・勤労者医療生協・医療生協の会員生協より7名が参加し開かれました。

懇談会は先ず、生協連の青木会長より「本日は県議会開催の中、井上伸史議長をはじめ多くの議員のみなさんに県生協連との懇談会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

今年で27回目となり、少しずつではありますがみなさま方に生協の活動のご理解が進んでいるのかなと思っています。7月5日の九州北部豪雨で大分県では日田市・中津市を中心に大きな被害がありました。全国の生協の組合員や東日本大震災の被害にあった福島の子ども達、仮設住宅のみなさん方の義援金を被災者支援に活用するよう広瀬勝貞大分県知事に贈呈し、生協としても県と共に復興のための取り組みを行っていきます。

生協は、昨年11月にユネスコの無形文化遺産に祇園が認定されたように、本年6月には協同組合も登録されました。県下の協同組合ではこれを機会に11の協同組合が休止していた協議会活動を8月に再開することになりました。農水産物を中心に大分県のための協同組合事業の連携を深めていきたい。

また、毎年、大分県の来年度予算編成と行政執行について要望書を提出しておりますが、本年も消費者行政、食の安全・安心、災害対策、格差・貧困問題、医療・介護・福祉等、消費者の暮らしに役立つ要望を考えており、県議会のみなさんのお力添えをお願いしたい」とあいさつがあり、引き続き、出席県議会議員を代表して井上伸史県議会議長よりあいさつがありました。あいさつでは「大分県生活協同組合連合会のみなさん方には、平素から、県内各地域において、県民の暮らしに寄り添い、その生活の安定と生活文化の向上に格別のご尽力をいただいております。今年4日には、九州北部豪雨に対する義援金6,426万円を県

に贈呈していただきました。大変あたたかなお心遣いをいただき、県議会を代表して感謝申し上げます。さて、近年、消費者契約トラブルや、悪質商法に関する事案が後を絶たず、消費者の権利と利益の保護は大きな課題となっています。また、多発する集中豪雨や、将来発生が懸念されている南海トラフ巨大地震などの自然災害に備えるために、発災直後の県民生活を支える生活必需物資を十分に確保し、被災者に供給でき



井上議長の挨拶

る体制を整えていかなければなりません。

大分県生活協同組合連合会の皆さんには、安全・安心な商品の提供を初め、悪質詐欺等の消費者被害の防止やその救済に取り組むとともに、災害発生等緊急時の生活必需物資供給の訓練も行われています。こうした取り組みにより、安全・安心な生活の実現に向けて、貴連合会に対する県民の期待はますます高まっており、さらなる取り組みの充実をお願いします。



県議との懇談会

本日は、活発なご議論をいただき、みなさんから、県議会あるいは県政に対しましても、忌憚のないご意見、ご助言をいただければ幸いです。県議会といたしましても、今後とも、消費者の保護と安全・安心な県民生活の実現に向けて、全力を尽くす所存であります」とあいさつがありました。

その後、出席された生協と各県議より自己紹介をいただいて、意見交換のポイントとなる「生協県連の活動概要や県連が大分県行政に関する要望書を提出することや「大分の生協」の機関誌に掲載されている全国の状況や大分県の生協の事業や活動の主な項目について太田専務より報告、引き続き、コープおおいたからお買い物サポートカーの本格的稼働、買い物弱者支援、グリーンコープおおいたから大分市中央町に出店したインフォメーションプラザ、勤労者医療生協から主な事業活動と難病患者の在宅医療の支援、県医療生協から地域包括ケアシステム、おいしく食べる・助け合い・認知症支援・総合支援事業対策・子ども支援等のプロジェクトについて説明があり、県議会議員より、説明した内容について意見交換があつて懇談会は終わりました。その後の懇親会では相互の名刺交換や意見交換もあつて、この懇談会を通じ、生協に対しての理解は深まったことを確信しました。

県議会議員の出席者

会 派	氏 名	出身地	会 派	氏 名	出身地
県議会議長	井 上 伸 史	日田市	県民クラブ	尾 島 保 彦	宇佐市
公 明 党	河 野 成 司	大分市	県民クラブ	木 田 昇	大分市
県民クラブ	平 岩 純 子	大分市	県民クラブ	羽 野 武 男	日田市
県民クラブ	守 永 信 幸	大分市	県民クラブ	藤 田 正 道	大分市
県民クラブ	原 田 孝 司	別府市	県民クラブ	三 浦 正 臣	日出町
県民クラブ	馬 場 林	中津市	日本共産党	堤 栄 三	大分市
県民クラブ	玉 田 輝 義	豊後大野市			

生協の出席者

県連役職名	氏 名	単 協 名	単協役職名
会長理事	青 木 博 範	生 協 コ ー プ お お い た	理 事 長
専務理事	太 田 耕 作	員 外	
理 事	後 藤 哲 也	日 田 市 民 生 協	専務理事
理 事	佐 藤 慈 宜	グリーンコープ生協おおい	専務理事
理 事	高 瀬 宏 一	大 分 県 学 校 生 協	専務理事
理 事	三重野 修 次	大 分 県 高 校 生 協	専務理事
理 事	松 浦 和 規	大 分 大 学 生 協	専務理事
理 事	政 丸 佐智夫	大 分 県 職 員 生 協	専務理事
理 事	河 原 伸 明	自 治 労 信 販 生 協	専務理事
理 事	森 徳 夫	大 分 県 総 合 生 協	常務理事
理 事	橋 本 敏 雄	大 分 県 勤 労 者 医 療 生 協	専務理事
理 事	田 辺 修	大 分 医 療 生 協	専務理事
監 事	江 藤 隆 康	生 協 コ ー プ お お い た	専務理事
監 事	萩 原 潤	グリーンコープ生協おおい	常務理事
	宇都宮 日登美	生 協 コ ー プ お お い た	組合員理事
	小 川 富代美	生 協 コ ー プ お お い た	組合員理事
	尾 田 美 香	生 協 コ ー プ お お い た	組合員理事
	宇都宮 陽 子	グリーンコープ生協おおい	理 事 長
	阿 部 恭 子	グリーンコープ生協おおい	副 理 事 長
	大 西 由 香	グリーンコープ生協おおい	組合員事務局長
	松 本 茂 子	大 分 県 医 療 生 協	副 理 事 長

第5回県連主催会員生協監事研修会を開く

県連主催の会員生協監事研修会は、9月28日(木)に大分市中央町の全労済ソレイユ7階カトレアで、県連及び会員生協の監事30名が参加して開催されました。

研修会は、冒頭に青木博範県連会長理事が主催者のあいさつの後に講演となりました。

講演は、日本生活協同組合連合会総合運営本部放棄会計支援部の岡坂充容さんが、「年間時系列による監事監査のポイント～監事の職務の基本から、監査報告書作成まで～」と題して講演されました。

講演内容は、はじめに、1. 監事の職務の基本。①役員（理事・監事）と組合は委任の関係、②受任者としての役員の基本的な義務（善管注意義務）、役員の職務と法的責任、(1)役員への組合に対する損害賠償責任、(2)役員への第三者に対する損害賠償責任、③監事監査の目的は、監事は、組合員の負託を受けた独立の機関として理事の職務執行を監査することにより、持続的な発展を可能とする組合の健全な経営と社会的信頼に応えるガバナンスを確立する責務を負っている、④監事の権限・義務の内容。(1)報告を求める権限と業務・財産の調査権、(2)理事会への出席義務・意見陳述義務、(3)理事の監事への報告義務、(4)監事の理事会への報告義務、(5)理事の行為の差止め、(6)組合と理事との間の訴えにおける組合の代表、(7)総代会に対する報告義務、2. 年間時系列による監事監査のポイント。①監査のための体制の整備と環境作り、②期発（総代会終了後）の監査活動、③期中の監査活動。3. 期末監査と総代会対応のポイント。①期末監査の内容と対応～期末から総代会までの概観、②期末監査の事前準備、③事業報告書等の監査、④決算関係書類の監査、⑤監査報告の作成と提出、⑥その他期末監査事項、日生協の情報プラザで「法規・内部統制・会計」のページで監事の必要な情報を提示しているので、参考にされたら良いとの話で、監事研修会は終わりました。その後、個別に講師との相談がありました。



平成30年度大分県予算編成並びに行政執行に関する要望書提出

2017年10月3日(火)「平成30年度大分県予算編成並びに行政執行に関する要望」を、県の生活環境部長室で行いました。

この要請活動は毎年生協会員の意見を聞きながら実施しています。今回の要望は、①消費者行政の充実・強化、②食の安全・安心の推進、③生活協同組合の育成・強化、④大規模災害等の被災者支援と復興・再生及び今後の災害対策、⑤格差・貧困社会の是正、セーフティネットの強化、⑥安心・信頼できる社会保障の構築、⑦くらしの安全・安心の確保、⑧医療・介護・福祉についての8つのテーマです。

当日は、県生活環境部より柴田尚子部長をはじめ4名、生協県連は、青木博範会長理事を含め役員11名が出席しました。

会議は、原田課長補佐が司会者となり、最初に県生協連の青木会長より「日頃より、生活環境部のみなさんには県民の消費者行政・福祉、暮らしを良くする活動にご尽力されていることに感謝し、生協運動にご支援とご協力をいただいておりますことにお礼申し上げます。

7月の九州北部豪雨での日田市を中心とした被災地での復興が進む中で、台風18号で県南地区では甚大な被害にあり、生活再建に取り組まれています。特に、津久見市ではボランティアの人員が不足しており、我々生協としても他の協同組合のみなさんと連携して取り組みたいと考えています。

今回も要望書を提出いたしますが、広範囲での要望となりましたが、それぞれの地域や組合員から出された事項でありますのでご検討をお願いしたい。」とあいさつがあり、今回は九州北部豪雨の第二次の義援金の贈呈もあり、要望書提出の前に生協県連の青木会長理事より、柴田尚子部長に、栃木県生協連・熊本県生協連・日田市民生協・大分県高校生協・大分県総合生協・大分県勤労者医療生協・大分県医療生協からの義援金を贈呈しました。

その後、参加者からの自己紹介があり、青木会長理事より柴田尚子生活環境部長に要望書を手渡し、内容については太田専務より消費者行政をはじめとした7項目の概要について説明があり、田辺理事より医療・介護・福祉について詳しく説明を行い、12月末までに回答いただくようお願いしました。

その後、柴田部長より「本日は平成30年度の県行政に対する要望書をいただき、詳しい説明をいただきましたが、大分県生活協同組合連合におかれましては、全国の生協をはじめ大分県連に加盟する生協から九州北部豪雨に多額のお見舞いをいただき感謝申し上げます。今、いただきましたお話につきましては多岐にわたるものではありませんが、私どもの部署や福祉、県民に身近な生活者の団体である連合会から私ども共通の課題であると考えているところもあり、宿題をいただいた思いであります。

新しい問題につきましては頭をなやませる問題もあるかもしれませんが、それぞれ誠実に考えて回答していきたいと思っております。私どもも改善をしていきたい。本日いただきました要望については多くの部局に関係するものもありますので、関係する部署と共に連携して回答する」と述べられ、その後、意見交換を行いました。

意見交換では、ハザップや食育問題、大規模災害対策等について話された。

出席者

大分県生活環境部

部	長	柴田尚子
理事兼審議監		堤健一
県民生活・男女参画課課長		後藤素子
県民生活・男女共同参画課課長補佐		原田幸子

大分県生活協同組合連合会

会長理事	青木博範	コープおおいた理事長
専務理事	太田耕作	員
理事	高瀬宏一	大分県学校生協専務理事
理事	三重野修次	大分県高校生協専務理事
理事	政丸佐智夫	大分県職員生協専務理事
理事	河原伸明	自治労信販生協専務理事
理事	松浦和規	大分大学生協専務理事
理事	橋本敏雄	大分県勤労者医療生協専務理事
理事	田辺修	大分県医療生協専務理事
監事	江藤隆康	コープおおいた専務理事
監事	萩原潤	グリーンコープ生協おおいた常務理事



要望書提出



意見交換

第23回 大分県生協大会開催

県生協連に加盟する12の生協は、生協運動の発展と会員相互の交流を深めるために、「第23回大分県生協大会」を県生協連主催で10月24日(火)全労済ソレイユにて開催しました。

この日は、県下の生協組合員や役職員など約66名が参加し、大会は、大分県学校生活協同組合の高瀬宏一専務理事（県生協連理事）が総合司会となり大会がはじまり、主催者として青木博範会長理事が「生協大会に災害対策で忙しい中での大分県行政から、7月に協同組合間連携を再開したJAの会長さん、いくつもの関係する団体の大分県労福協から来賓としてご参加いただき、県下12生協より多くの皆さんに参加いただき開催することができましたことに感謝します。

さて、昨年11月にユネスコの無形遺産に協同組合が登録されました。だからということではありませんが、生協の事業であったり活動が大きく注目されており期待されています。それはなぜかと考えますと、1つは少子高齢化の中、地域が抱えるさまざまな課題に生協が持続可能な仕組みにして取り組んでいる。その期待はその地域の住民であり、行政からの期待であろうと思います。実は、最近、激流という流通業界の専門雑誌です。この表紙が「高齢社会で生きる生協の第3の道」というタイトルで特集があり、地域が抱えるさまざまな課題、高齢者支援であったり、子育て支援であったり、障がい者の支援であったり、購買事業ではない第3の道をまじめに取り組んでいる。持続可能にして次につなげるという特集記事です。この中で生協だけではできない、共同組合で連携を深めて行くのだと書いてあります。生協は本業以外に取り組むのかという声が聞こえてきますが、大分県生協連合会の組合員だけでも45万人で、2世帯に1人は生協の組合員であり、生協はご存じのように持続可能な事業やサービスを実現していくことを求めており、組合員というより地域に役立つ組織です。だからこそさまざまな活動に取り組むことが生協のあり方ではないかと思います。

それぞれの生協の中でなんで存在しているのかを考えるいい機会になるのではないのでしょうか。本日の講師の話の中で生協が行政と一体となって地域活性化にいかに取り組むかについて講演があると思います。大分県では職域生協・地域生協・医療福祉生協があるのは大分県だけだと思います。それだけ広範囲な取り組みができる大分県の生協ですので、みなさんと力を合わせ、大分県のために、地域住民のために、生活者のために一緒に発展し取り組んで参りましょう」とあいさつがあり、引き続き来賓として、後藤素子大分県生活環境部県民生活課長より「生協は行政とパートナーシップとして協働していきたい。特に台風18号の被害で津久見市では復旧のためのボランティア人員が不足している状況であり、協力いただきたい」、二宮伊作大分県農業協同組合中央会会長より「協同組合間の連携を強化したい」、吐合史郎大分県労働者福祉協議会専務理事のあいさつがあり、講演となりました。

講演は、生活協同組合連合会コープ中国・四国事業連合の小泉信司理事長が、「中四国生協の事業連帯の現状と今後の課題」と題して講演されました。

講演内容は、コープCSネットは、Cは「中国（Chugoku）」、Sは「Shikoku」から取っています。2005年10月に事業連合として設立した。会員数は9生協で供給高では1,853億円、組合員数は173万人で、九州地連に続く規模である。

遠隔は、2006年4月に中国地区5生協において商品案内チラシ統一企画開始、中国・四国9生協において6種類の商品案内チラシ統一規格開始、2010年4月、サンゴ礁再生事業「もずく

基金」を中国四国6生協で開始、2013年4月、コープCS特例子会社として(株)ハートコープおのみち設立、同年7月にコープCSネットエコセンターを運営、2014年10月、平和の折り鶴を再生原料として再商品化する事業「平和の折り鶴昇華再生事業」を開始、2016年6月、宅配受注システム基盤を中国5生協で整え、2016年9月、組合員の声を生かした開発商品をリリース開始(現時点5商品)、2016年9月、「もずく基金」を通じて参画する「恩納村コープサンゴの森連絡会」が環境大臣賞を受賞したことの説明があり、動画を通して「組合員参加による商品開発の流れ」「もずく基金・サンゴ礁再生支援事業」「平和の折り鶴昇華再生事業」を理解してもらうため、もずく基金・サンゴ礁再生支援事業」では、2010年～2016年までで13,945万円で、4,963本のサンゴの植え付けを行い、産地交流も行っている。「平和の折り鶴昇華再生事業」は、国内外から平和記念公園の「原爆の子の像」などに寄贈された平和の折り鶴を再生原料として再商品化する事業で、広島市が一定の期間が過ぎた折り鶴を保管したものを、以前は供養して焼却していたものを、前市長の時に再生して役立たないかと相談があり、コープCSネット、広島県生協連が中心となり、折り鶴選別作業(糸や金具を外す)を2016年度は655人の組合員が参加、選別した折り鶴は830kgで選別され、障がい者の自立支援を進めている特例子会社で再商品化のための加工の一部を行い、製紙工場で製品化されていますと話されています。

最後に、今後の課題として、商品と流通のあり方、宅配事業の拡大、会員生協との関係、内部運営についてお話しされて、講演は終わりました。

その後、講演に対する質問があり、商品開発や組合員の声はどうして聞くのか、ハートコープでは障がい者支援をしているが、それ以外にあるのか、安心・安全の企業、少子高齢化社会で生協が地域の中でやっていけるのかビジョンがあればお聞きしたい。事業色が強い、地域や生産者とのつながり、組合員がからんでいる。組合員が参加する会議等あれば、CSが取り組もうとしていることがあれば教えてほしい。等の質問があつて本年度の生協大会は全て終了しました。



県生協連主催 第28回スポーツ交流会が開かれた 本年度よりボウリング大会に変わる



県連主催「スポーツ交流会」は、秋を感じさせる季節のする11月11(土)に第28回スポーツ交流会は、本年度よりボウリング大会としてOBSボウルで行われました。

この交流会は、県内生協間の連携と組合員の交流を通して、県内における生協運動の発展をはかることを目的として毎年開催しているものです。本年度からは従来実施してきましたミニバレーボール大会は年々参加する生協とチームが減少傾向にあり、今後の再検討の課題として組織委員会を中心に検討しました結果、

すべての生協が天候に左右されず、誰でも参加できる協議は何かを求めたものとしてボウリング大会を開催することになり、11の加盟生協から95名が参加して開催されました。

試合に先立ち、開会式が行われ、主催者を代表して太田耕作県連専務理事のあいさつ、始球式後に競技が開始されました。

試合は、OBSボウルの22レーンを使用して1人2ゲーム方式で熱戦となりましたが、第1位は大分県高校生協の長井剛さんがトータル470で、第2位はコープおおいたの藤井涼さん、第3位は日田市民生協の平川右京さん、第4位はコープおおいた日田の朝倉国雄さん、第5位は日田市民生協の後藤哲也さんで、以下5位及び10位ごとにトビ賞があり、第28回大会から第28位の自治労大分県本部信販生協の関口



功三さんに特別賞、ブービー賞に大分大学生協の川本早輝さんに贈られました。

最後に、閉会式では県連として初めて実施したボウリング大会でありましたが、多くの方々に参加いただき、参加されたみなさんからも大変楽しく交流させていただき、来年度はもう少し練習して参加したいとの声をいただきました。



2017年度 役職員研修会開催

大分県生協連に加盟する、県下11生協の役職員の代表60名が参加して、「役職員研修会」が11月21日(火)、大分市の全労済ソレイユ7階アイリスで開催されました。

はじめに、主催者を代表して青木博範会長理事が「日本の研修会は2つの議題について開催しますが、1つは消費税の軽減税率の対応について、我々消費者団体としては着手しなければならない時期にきておりますので、熊本国税局の園田係長にお願いしましたので、是非忌憚のないご質問、ご要望を出していただきたい。2つ目は、日本生協連の島田専務にお越しいただいて、日頃、九州内、大分県内の生協活動については情報提供をさせていただいておりますが、全国の生協が今どういう役割を担い、どういう期待をされていて、どういう活動に取り組んでいるかを含めて、日本生協連の活動や取り組みについて報告をいただきたい。

はじめに紹介すべきでありました大分県生活環境部の後藤素子課長を紹介し、最後に7月の九州北部豪雨に続き10月の台風22号の臼杵・津久見・佐伯を中心とした被害が発生したが、北部豪雨では全国の生協の仲間や県内の会員生協から、多大な義援金を大分県に贈呈できたが、台風の被害の義援金はあまり集まってないので、一層の取り組みを要請したい」とあいさつがあり、来賓として大分県生活環境部の後藤素子課長のあいさつがあった後に講演となりました。

講演は、熊本国税局消費税課税率制度係長 園田剛大氏と軽減税率制度係実査官の岡崎祥太氏が「消費税軽減税率制度の実施」と題して講演されました。

講演内容は、軽減税率制度とはなに？から始まり、実施時期は平成31年10月1日から、税率が10%に引き上げられるが8%に適用される税率であり、対象品目は酒類、外食を除く飲食料品、週2回以上発行されて定期購読契約に基づく新聞である。そのために、日々の業務で対応が必要となることは、仕入れが対象品目か確認すること、売り上げは請求書に基づき売り上げを税率ごとに分けて帳簿に記帳すること、税率ごとに区分に申告することです。説明の後に質問等が多く寄せられましたが、担当部署以外のこともあり、後日回答をいただきました。

軽減税率対象品目でも飲食料品を販売する際に使用する容器はどうなるのか、一体資産の取り扱い、外食・ケータリングなどについて、適格請求書等保存方式（いわゆるインボイス制度）の導入、軽減税率対策補助金について説明がありました。

続いて、講演では、日本生活協同組合連合会代表理事専務の島田裕之氏が「2020年ビジョンと生協の事業戦略・地域戦略」と題して講演されました。

講演内容は、2020年ビジョンに込められた「現在」「過去」「未来」で、協同組合の歴史、2012年国際協同組合年で協同組合がもたらす社会経済的発展への貢献が国際的に認められたことから、貧困削減・仕事の創出・社会的統合に果たす役割の取り組みがなされたこと、協同組合がユネスコ無形文化遺産に、第二期中期方針では、安心してらせる地域社会づくりの参加、商品力の強化を通じた組合員のくらしと生協経営への貢献、生協の未来を担う人材の確保と育成について話され、研修会は終わりました。



生活協同組合コープおおいた

秋のコープ体験農場 in 清川

9月2日開校式⇒11月25日収穫祭

4月から7月に行った「コープ体験農場 in 清川 (春)」に引き続き「コープ体験農場 in 清川 (秋)」を9月2日に開校式を迎え行っております。秋は、9月、10月、11月の3回を予定しておりますが、長雨や台風の影響を受け、2回目の10月開催は雨のため中止となりました。(株)夢ファームおおいたさんのご協力もあり、種の植え直しなど行なっていただきましたが、自然には勝てず予定通りの作業とはいきませんでした。ただし、「これも農業」「これも食育」ということで参加者の方にはご理解を頂きながら収穫祭を迎えようとしています。秋のメインである「落花生の収穫」と「さつまいもの収穫」を収穫祭のメインにおき、参加者の方に来年も参加したいと思われるような企画を今後も続けていきたいと感じました。



第7階親子 de 楽しく映画館で読み聞かせ

10月6日(金)

当日は、「ハロウィンパーティー with ザ・キャビンカンパニー」と題し、参加者に仮装をしてきてもらったり、合言葉(トリックオアトリート)を言ってお菓子をもらったり、一味違う「映画館で読み聞かせ」となりました。「ザ・キャビンカンパニー」登場シーンでは「ザ・キャビンカンパニー」



自ら作成のお面を被って登場し、大いに盛り上がりました。子どもたちはシアター内で歌ったり、踊ったりと大忙しで、いつもとは違う映画館でのひと時を楽しんでいただけました。終演後は、ロビーにて「ザ・キャビンカンパニー」の絵本販売・サイン会を開催しました(新作「おかしなハロウィン」)。ロビーのあちらこちらで、子どもたちが絵本に読みふけっている姿が微笑ましかったです。



米粉活用離乳食セミナー

10月25日(水)

講師に相藤晴陽氏を招き米粉の離乳食への活用法の紹介をするセミナーを大分県(大分県から声掛けをした市町村保健師も参加)と共催しました。講師の相藤様は熊本地震の時に、離乳食を必要とする方への支援活動を行い、米粉を使った離乳食をお届けしました。米粉はダマになりにくく、とろみがあるので食べることの練習によいそうです。小麦アレルギーの子も食べられるので、非常食としてだけではなく、日常食としての活用もおすすめです。会場で出汁と米粉で作った離乳食を、お子さんだけでなくお母さんたちにも試食してもらいました。昨年から大分県と共催して米粉活用をすすめています。会場の横断幕にも大分県・コープおおいた共催と大きく書かれていて、コープおおいたを知ってもらうことにも大いに貢献できた企画となりました。



日田市民生活協同組合

主な活動紹介



大鶴地区水害支援BBQ大会

10月28日、今夏の水害にて被害を受けた大鶴地区300名の皆さんと共にコープおおいた・日田市民生協で焼肉、焼そば・飲料等提供いたしました。

水害以来久々に地区の皆さんが一堂に会する機会となり、とても有意義なひとときを共に過ごせました。

組合員感謝企画日帰りツアー

組合員感謝企画といたしまして、熊本・高千穂日帰りバスツアーを企画し、10月初旬の1週間、約700名の組合員参加のもと開催いたしました。

初めての企画ではありましたが、多くの皆さんに喜んでいただきました。



第27回組合員ミニバレー大会

10月15日、第27回組合員ミニバレーボール大会が組合員180名16チーム参加のもと開催され、終日熱戦が繰り広げられました。

優勝はチェルシーチーム、準優勝はしみずチームとなりました。

グリーンコープ生活協同組合おおいた

100円基金報告会&みんなのふくし交流会報告

7月4日(火)大分県教育会館で「100円基金報告会&みんなのふくし交流会」を開催しました。当日は組合員さんをはじめ136人の参加となりました。私たち一人ひとりの100円基金の拠出がどのように活かされたか、助成団体15団体より詳しく報告されました。また、会場内で各団体の展示も行われ、グリーンコープが進める地域福祉「住んでる街を住みたい街に」を実感できる交流会となりました。



木津さん(生産者)産地交流報告

グリーンコープ生協おおいたでは、いつもお届けしている青果や生産者さんを組合員にもっと知ってもらおうと、産地交流を行っています。

10月27日(金)、大人18人、子ども2人で生産者の木津さんの畑に行きました。玉ねぎ畑の草取りや芋掘りのお手伝いを行いました。近くにイノシシの足跡があったり、小松菜と白菜の苗は虫に食べられほとんど残っていませんかったり、自然相手に農作物を作る大変さを感じました。

作業の後は、公民館で豚汁を食べながら交流会を行いました。木津さんの里芋・ごぼう入りの豚汁はとてもおいしかったです。参加者からは「木津さんの野菜の大ファンです!」との声が多く聞かれました。



大分県学校生活協同組合

2017年 産地交流会 in 長野



岡本商店(有)で

10月6日(金)～8日(日)、今回は16年ぶりに長野で「商品委員会産地交流会」を開催しました。組合員さんと事務局を合わせて23人で学校生協が取り扱っている商品の工場見学に行きました。

まず、「岡本商店(有)」に訪問しました。学校生協でおなじみの『野沢菜漬』の生産者です。地元の農産物を使った漬物を根気強く作り、全国の学校生協の共同購入で30年以上も続くロングセラーであり、秋から冬にかけての味覚となっています。また、「農林大臣賞」を何度も受賞し安心・安全な食品製造を行っています。

次に訪問した「(株)中村商店選果場」では、おなじみの『産直りんご』、『女性部物販サンフジ』などの生産者です。長野県の北信濃地区は恵まれた環境で、りんごの産地として知られており、有機肥料の使用や低農薬の栽培で、安心・安価な産直活動を支えています。

最後に「(株)三原屋」を訪問しました。共同購入でおなじみの『学校生協オリジナルつゆ』『信州仕込み味噌』は品質管理の徹底はもちろん、昔ながらの手作り製法で作られ学校生協のロングセラー商品となっています。

今回の産地交流会を通して、生産者は恵まれた自然環境の中で徹底した品質管理のもと、安心・安全な商品を生産・お届けしている生産者の苦労がわかった3日間でした。



(株)三原屋で (信州仕込み味噌)



岡本商店(有)で (野沢菜漬)

産地交流会に参加して

組合員 NMさん

学校生協の産地交流会に参加するのも、早4回目です。今回は2泊3日の長野の旅。長野といえばリンゴに野沢菜です。わくわくしながらの旅立ちでした。野沢菜の岡本商店さんの瓶詰め野沢菜や中村商店さんの『マルナカ』マークのリンゴは、これまでずっと女性部活動を支えてくれた頼もしい品々です。初めてその生産者の方々にお会いし、心のこもった商品とは人と人とのつながりが作り上げたものだということを実感しました。

つぎの日は善光寺近くの三原屋さんを訪問しました。『信州仕込み味噌』の木の中蓋を見て、私が若い頃、この味噌のおいしさを教えてくれた職場の先輩を思い出しました。「このお味噌はね、買って家で熟成させているとその家の味になるのよ。」と教わり、早速購入して味わったのも懐かしい思い出です。

善光寺にもお参りし、実り多い旅でした。

大分大学生生活協同組合

自転車無料点検実施（事故予防の取組み）

大分大学では、多くの大学生が自転車で通学しています。そんな中には自転車の整備不良による事故やけがをする学生さんもみられます。そういった事故を未然に防ごうという事で自転車無料点検を実施しました。継続して年2回実施しています。

また、学生総合共済に加入しているということを知らない学生さんがいることから、給付漏れを防止するために、同時に共済アンケートを行い、自分が共済に加入しているのかどうか再確認をしてもらいました。

今回、11月9、10日の2日間で66台の申込がありました。前回の開催と比べ、注油状態が悪くチェーンが錆びている自転車が多く、殆どの自転車へ注油をしました。特に、長期間放置していた自転車を無理に乗った為、タイヤの中でチューブが振れてしまう特殊なケースもありました。付近に自転車店が無い為、普段の点検がなかなか行いにくい環境かと思いますが、点検会を通じて整備の大切さを認識してもらえればと感じました。

大分大学留学生とホストファミリーの交流会（大学や地域との連携の取組み）

10月29日(日)に「平成29年度 第2回大分大学留学生とホストファミリーの交流会」を旦野原キャンパスにおいて開催しました。この交流会はホームステイを希望している留学生とホストファミリーあるいはホームステイに関心のある地域住民との交歓・親睦が目的で、実施しています。大分大学生協は、大分大学と共催でこの企画を実施しています。今回の参加者は、ホストファミリー4家族（9名）と留学生32名、計41名でした。

交流会は先ず大分大学国際教育研究センター長の下田憲雄先生のご挨拶をいただき、続いてホームステイを体験した留学生2名が、「日本の生活習慣などを経験でき、また日本人との親睦も深めることができ、とても嬉しかった」と日本語で発表し、ホストファミリー体験者からも、「留学生の国の文化などを知れて嬉しかった」とのお話がありました。

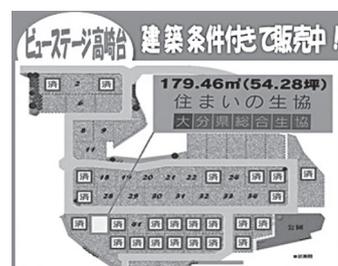
次に、大分大学生生活協同組合学生委員会留学生部会の司会により、3グループに分かれて座談会を行いました。お互いに率直な質問や意見を交換し、楽しい時間を過ごし、これからホームステイを体験しようとする留学生にとって、日本の家庭、家族とはどのようなものか、また、ホームステイに参加する際にどのような点に注意すればよいのか等、様々な情報や知識を得ることができる有意義な時間になりました。

大分県労働者総合生活協同組合

住宅事業について

【分譲部門】

- ◇大分市の大在地区（角子原）で「あすみの丘」を建築条件付宅地として、13区画を好評販売中です。ぜひ、ご検討ください。
- ◇大分市の南生石で「ビューステージ高崎台」を建築条件付きで販売中です。詳細はフリーダイヤルでお問い合わせください。



詳細については下記フリーダイヤルにお問い合わせください!!

【リフォーム部門】

戸建住宅の外壁や屋根の葺き替え、キッチンやお風呂など様々なリフォームを扱っています。お客様のご希望に合ったプランのご提案をさせていただきます。

【問合せ先】大分県総合生協住宅課 0120-557-887

旅行センターについて

◇「忘新年会プラン」

【2017年11月1日(水)～2018年2月28日(水)まで】

大分県内協定旅館・ホテル、大分市内ホテル、居酒屋関係の手配もしております。幹事さんのご要望に沿ったさまざまな施設のご提案をいたします。

◇「レゾネイトクラブくじゅう」宿泊プラン

【2017年4月1日(土)～2018年3月31日(土)まで】 1泊2食付 9,980円から

<お得なポイント> ・60分貸切湯無料（要予約） ・1部屋2名様も同料金
・休前日利用でも1,000円UPのみ

◇「ANAで行く 今だけDon!! スペシャル東京2日間・3日間」

往復航空券と宿泊の東京パック旅行です。

3～4名1室利用で35,800円～

◇大分市内・別府市内宿泊プラン

【2017年4月1日(土)～2018年3月31日(土)まで】

大分市内、別府市内での会議、懇親会後の宿泊として皆様にご利用いただいております。

大分市内：7施設 別府市内：5施設を設定

総合生協中央パーキングについて

【時間貸し料金】

- ・昼間（8時～18時）45分100円 昼間最大800円
- ・夜間（18時～8時）60分100円 夜間最大500円



【お得なプリペイドカード】

- ・10,000円券を7,200円で販売
- ・5,000円券を4,200円で販売

*おさるのマーク、「大分市中心市街地共通駐車券」の加盟駐車場です。

全労災ソレイユでの会議や大分市中心部商店街でのお買い物の際は是非ご利用下さい。

なお、おおいたパーキングNaviで、駐車場の空き情報もわかります。

大分県勤労者医療生活協同組合

職員が皆様のところへお邪魔しまーす♪

勤労者医療生協は、病院・診療所・訪問看護・訪問介護・居宅支援の5事業所から成り立っています。

各事業所には、医師や看護師などの医療関係の専門職スタッフや、ケアマネージャー、ヘルパーといった福祉関係の専門職スタッフがいます。そうした専門職スタッフが皆様の集まりにお邪魔し、健康相談や学習会の講師などをさせていただいています。

企業や団体の研修会の講師だけでなく、自治会などの地域の集まりでの講演会なども行っています。

大分県原爆被害者協議会では、医師による「転倒予防に関する講演会」、ろうきん友の会では、管理栄養士による「食と健康の学習会」、大分県土木建築部退職者会では医師による「生活習慣病に関する講演会」、また薬剤師による「認知症の予防と薬の話」等々、さまざまな集まりに参加しています。

9月には、田尻グリーンハイツ中央区敬老会の「健康チェック・健康相談」に看護師2名がお邪魔しました。敬老会に参加された地域の高齢者の中には一人暮らしの方も多く、健康に不安を感じていらっしゃる方もおられるようでした。

健康管理の良い機会にさせていただこうと、血压測定や最近の体調などの相談を行いました。

参加者からは「家ではなかなか血压を測らないから、今日はいい機会になった」「日常生活のことを看護師さんに相談できて安心した」といった声が聞かれました。

当生協では、勤労者の方々や地域の皆さまと一緒に健康づくりのための活動を続けていきます。



大分県医療生活協同組合

生協強化月間に向けて集会を開きました

10月1日から始まる生協強化月間を前に、9月6日（水）大分健生病院会議室にて「2017年度生協強化月間学習交流会」を開きました。支部長、支部運営委員を中心に48名が参加しました。

月間方針を共有し、地域に医療生協の健康づくりを広げようと確認しました。地域でのお互いの関係が希薄になっている今こそ、生協の助け合いの理念が大切になっています。そんな中で、なんでも相談でき安心して集える居場所作りが、ますます重要な課題になっていると、それぞれの地域での取り組みをグループワークでも話し合いました。



午後からは、けんせい歯科クリニック所長後藤先生より「フレイル（虚弱）予防」について学習講演がありました。先生は、フレイル予防と生協活動を結び付け「身体的、精神的、社会的に虚弱になっていくことを防ぐためにも生協活動が役に立ちます」と話されました。これからも引きこもらず、地域との関わりを持ち「きょういく（今日行くところがある）」「きょうよう（今日用事がある）」を大事にしていきましょう。

子ども達にも健康づくりの習慣を～キッズけんこうチャレンジの取り組み～

子どもの頃から自分の健康に関心を持ち、身体に良い生活習慣を身に付けることで、健やかな成長を促し将来の生活習慣病予防にもつなげてもらうことを目的に「キッズけんこうチャレンジ」を取り組みました。



大分市及び大分市教育委員会の後援をいただき、近隣の小学校を訪問し取り組み協力の依頼をしました。夏休みの1ヶ月間、自分で決めたことにチャレンジしてもらいます。コースは、「朝ご飯を食べる」「歯磨きをする」「テレビやゲームの時間を決める」「あいうべ体操をする」など、その他なんでもよいのです。自分で決めたことを最後まで頑張って取り組むことで、きっと自分に自信が持てたと思います。結果報告のハガキには、おうちの人から「歯磨きをする意味を教え、仕上げみがきをしました」「土日もよく頑張りました」「毎日暑い中運動を頑張りました」などコメントが添えられていました。親子で健康を考える良い機会になれたらうれしいです。来年は、もっと広く呼び掛けて、取り組みたいと思っています。ご協力をお願い致します。

2017年度 第2回理事会報告

1. 日時 2017年9月14日(木) 16時00分～17時30分
2. 会場 大分市都町2-1-7 アリソンホテル2階 会議室
3. 出席者 理事総数12名中、11名出席 監事総数2名中、2名出席

議 題

4. 議 事

1. 報告事項

- 7/15 第1回理事会及びトップ研修会
19 全国県連活動推進会議
28 大分県労働者総合生協通常総代会
29 県連主催親子で考える平和のつどい
31 大分県協同組合協議会委員会
8/ 1 大分県協同組合協議会連携推進大会
2 日生協九州地連運営委員会
4 第1回監事会
9/ 4 大分県知事へ九州北部豪雨義援金贈呈式
5 大分県議会議員への懇談会参加要請
6 県連第2回組織委員会
14 第1回理事会及び県議会議員との懇談会

2. 監事会報告

3. 単協報告・活動報告・活動計画 会員生協月別報告

4. 審議事項

- 第1号議案 「県行政への要望書」について
第2号議案 2017年度スポーツ大会(ボウリング)の開催について
第3号議案 2017年度生協大会の開催について
第4号議案 2017年度役職員研修会及びトップ交流会の開催について
第5号議案 県連役員視察研修について
第6号議案 「被爆者は核兵器廃絶を心から求めます」のヒバクシャ国際署名活動について
第7号議案 大分県福祉生協問題について

5. その他

1. 2017年度第1回県連理事会議事録
2. 2017年度損益計算書(4月～8月)

2017年度 第3回理事会報告

1. 日時 2017年11月21日(火) 12時20分～13時15分
2. 会場 大分市中央町4-2-5 全労済ソレイユ7階 ローズ
3. 出席者 理事総数12名中、11名出席 監事総数2名中、2名出席

議 題

4. 議 事

1. 報告事項

- 9/14 第2回理事会・県議会議員懇談会
20 第2回大分県消費者問題ネットワーク理事会
28 第5回県連監事研修会
10/ 3 大分県行政への要望書提出
12 第2回大分県消費者団体連絡協議会
13 県連役員視察研修
24 大分県生協大会
25 九州ブロック生協・行政合同会議
11/11 第28回スポーツ交流会(ボウリング大会)

2. 単協報告・活動報告・活動計画 会員生協月別報告

3. 審議事項

- 第1号議案 「県行政との懇談会」について
<協議事項>
第2号議案 大分県より生協県連と連携した広報・啓発活動の要請について
第3号議案 大分県生活環境部からの要請について
第4号議案 各部会の開催要請について

5. その他

1. 2017年度第2回県連理事会議事録
2. 2017年度損益計算書(4月～10月)